

皇學館 学園報

第87号
令和3年5月



■注目記事

- 2面 令和2年度学位記・修了証書授与式を挙行
- 3面 地域連携 新任教職員紹介
- 4面 グローバル 海外協定校とオンライン語学研修を実施
- 5面 高中トピックス 高中で卒業式・入学式を挙行
- 6面 令和2年度教学振興会寄付者芳名
- 7面 インフォメーション 人事異動 シリーズ「皇學館ライブラリー」
- 8面 卒業生随想

K-らいふ(全学一体第167号)
退任によせて
学長×学生座談会「～コロナ禍の一年を振り返って～ コロナで得た学びと気づき」

発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大学
大学院 | 文学部 教育学部
専攻科 | 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

令和3年度 皇學館大学入学式

期待胸に735名が入学

花曇りとなった4月2日、令和3年度皇學館大学入学式が挙行され、大学院13名、神道学専攻科12名、学部生708名、編入学生2名の計735名が入学した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度に続き式典、神宮参拝は取り止めとなり、各学科に分かれて開催された。

午前10時に各教室・会場で始まった入学式はマスク着用や手指の消毒、換気、間隔をあけての着席など徹底した対策のもと執り行われた。それぞれの教室、会場では

石原草太さん(神道)は「神宮に近く恵まれた環境の中で神職をめざして

一から学びたい。書道や音楽に興味があり、部活も頑張りたい」と希望を語った。教員志望の鞆脇直也さん(教育)は

「高い教員採用実績や手厚いサポート体制に惹かれて入学を決めた」と言い、「交友関係が広がるのが楽しみ。一人暮らしやアルバイトといった経験を通し自立した生活を送りたい」と話した。田邊恒輝さん(現日)は「何事も自主的にやれるのが大学のいいところ。学業、プライベートを充実させ、公務員になる夢を叶えた



左から石原さん、鞆脇さん、田邊さん

「い」と意気込んだ。キャンパス内の桜も新年度の始まりを祝うかのように満開となり、式後は設置された写真スポットで楽しそうに記念撮影する新入生の姿が見られた。なお、一部役員と新任教職員は神宮を参拝し、無事にこの日を迎えられる喜びと感謝を大御神にご奉告した。



万全の感染対策がとられる中、学科別に会場を分け入学式を執り行った。写真(上)は教育学科(記念講堂)、写真(下)は国史学科(431教室)

令和3年度 学部入試状況

現日は4年連続総志願者増

令和3年度入試は私立大において全国的に志願者が減少(昨年比86.8%)する中、本学でも総志願者数は前年度比85.4%となった。そのような状況下でも国史学科や現代日本社会学部は前年度を超える志願者を集め、特に現代日本社会学部は前年度比119.6%と4年連続で総志願者の増加を達成し、学部設置11年目を迎え、更なる躍進が期待される結果となった。

学部・学科	募集人員	志願者数	合格者数	競争率
神道学科	60	209	126	1.7
国文学科	80	284	207	1.4
国史学科	80	332	194	1.7
コミュニケーション学科	80	318	228	1.4
文学部	300	1,143	755	1.5
教育学部	200	707	389	1.8
現代日本社会学部	120	469	226	2.1
大学計	620	2,319	1,370	1.7

詳しい入試結果はこちらからご覧いただけます。



名倉芳美さん(教育 令和2年度卒)が「言の葉大賞®」で最優秀賞!

応募総数 2万8528点

2度目の学校賞受賞ほか、玉村早紀恵さん(教育 令和2年度卒)、瀧口陽菜さん(教育4)、山川理菜さん(教育4)も入賞

喜びの表情を見せる名倉さん



教育学部の中條敦仁教授が担当する国語教育学ゼミでは「ことばを介して楽しくつながる」をコンセプトに活動している。その一環として投稿してきた第11回「言の葉大賞®」(テーマは「壁」)で名倉芳美さんの作品「隣人」が応募総数2万8528点の中から見事最優秀賞を受賞。2度目

となる学校賞に加え、玉村早紀恵さん、瀧口陽菜さん、山川理菜さんも入賞する快挙を成し遂げた。

名倉さんは「賞を取りたいねとみんなで話してはいたが、まさか」と驚いた様子。これまで文章を綴る機会はほとんどなく読書感想文も苦手だったと言い、「このゼミに入ってから書く楽しさを知った。4月から小学校教員として教える立場になる。子どもたちに言葉の大切さ、文章を書く喜びを伝えられたら」と話した。中條教授は「ことば」は人と人をつな

ぐ媒体。平成29年告示の学習指導要領では言語活動のさらなる充実が、社会ではコミュニケーション力の向上が求められる。「ことば」はますます重視されていくでしょう。今回の受賞はゼミ活動が認められたともいえ、これからは自信を持って「ことば」にこだわっていきたい」と語った。名倉さんの作品はこちらから閲覧できる。



左から山川さん、河野学長、玉村さん、瀧口さん

言の葉大賞® 毎年テーマに沿った800字の作文を募集するコンクール。「読む」「書く」「聴く」「考える」「伝える」を学ぶことで思考力や表現力を養いコミュニケーション能力の向上を目指す。

皇學館大学では令和2年度に初めて卒業後5年目の卒業生と過去4年間に2名以上卒業生を採用くださっている企業を対象にアンケートを実施した▼これによると、卒業生、企業いざれからも、人間関係を構築する能力や他の人と協力して物事を遂行する能力(チームワーク力)、世代の異なる人とのコミュニケーション力などが「身に付けておいてほしい力」として挙げられた▼こうした力は、知識・技能とは異なり、具体的な経験によって身に付ける価値観や資質と関係している。学生時代の多様な経験が求められるのもそこにある▼また、一般教養という伝統的な項目も必要性の割合が高くなっていった▼一般教養と聞いて、みんな悩んで大きくなった、という野坂昭如さんのウイスキーのCMソングに登場するソクラテスやプラトンといった哲学者を思い起こす話は過去の話で、今は数理・データサイエンスである▼わからないことをネット頼みにせず、いかにして、信頼できる情報を得、組合せ、批判的に考えるかが、今の一般教養の姿なのだ。しかし、これを実際に運用せしめるのはまことにむずかしい。



就職者ボイス 神職編

- コロナ禍の中、夢を叶えた先輩たちの声を紹介します。
- 1 志望動機**
- 2 コロナ禍で苦労したこと**
- 3 克服法や工夫、成功の秘訣**
- 4 後輩へのアドバイス**

井上 宏紀(神道)

【奉職先】南宮大社

- 子どもの頃から近くの神社に参拝したり、祭りに参加したことがきっかけで神職に興味を持ち、なりたいと思った。
- 一時期、授業すべてがオンラインとなり、友人と会うことができなかった。
- 求人情報をまめに確認し、神職養成部のサポートをフルに活用し相談した。
- コロナ禍の中でも決して諦めず就職活動を頑張っていた。



奥野 将斗(神道)

【奉職先】神社本庁

- 氏子崇敬者の減少といった神社界を取り巻く諸問題に取り組みたいと思った。
- 採用試験会場が東京だったため、移動手段や宿泊施設、現地の過ごし方などに苦労した。
- 事前に現地の情報をテレビやネット等で収集し、家族や大学と相談して最適解を考えた。現地ではホテルから一歩も出ず、移動も夜行バスではなく新幹線を利用した。神職養成部では過去の採用試験報告書を閲覧でき、履歴書の書き方を一から教えてくれるのでとても助かった。
- 平日頃から情報に敏感になっておくこと。不明な点や悩み事があれば先生、家族、友人に相談して解消しておくこと。



黒川 雄太(神道)

【奉職先】春日大社

- 幼い頃より神社を参拝し、日常の中で神様の恵みを感じることもあり、神様と人々との「ナカトリモチ」を担う神職を志望した。
- コロナ禍で、求人票確認等、就職活動全体に遅れが生じた。
- 対面指導の休止期間中は、主にこれまで参拝・御奉仕させていただいた神社を見つめ直し、自分の軸を明確にした。対面指導再開後は神職養成部に毎週通い、求人票の閲覧と面談を行った。雅楽が出来ることに対して面接で良い評価をいただいた。
- どこにでも当てはまるようなありきたりな志望動機にしてはいけない。就職活動はすでに始まっているという意識を持ち、求人票の閲覧や神職養成部の先生方への相談など早めの行動を心掛けると良い。



成田 采弥佳(神道)

【奉職先】大阪天満宮

- 日本文化に興味があり、神道について学ぶ中で神社に奉職したいと思ったから。
- コロナの影響で求人の取り下げ等があった。
- 積極的にインターンシップに行くなど早めの行動をした。自分を飾らず、積極性を出したことが奏功したと思う。
- 雅楽が出来ると思う。普段から自分の意見を相手に伝えられるようにしておくこと。



密を避け執り行われた学位記・修了証書授与式



令和2年度学位記・修了証書授与式 受賞者等一覧

文学研究科国史学専攻博士前期課程	扇野耕多
教育学研究科教育学専攻修士課程	畑野健
神道学専攻科	大西祥平
文学部神道学科	朝倉正樹
文学部国文学科	濱村航貴
文学部国史学科	高木和真
文学部コミュニケーション学科	齋藤伶華
教育学部教育学科	佐伯穂乃香
現代日本社会学部現代日本社会学科	吉川享良
恩賜奨学賞	文学部国史学科 服部萌 文学部神道学科 駒井一
大宮司賞	教育学部教育学科 松岡奈々夏 現代日本社会学部現代日本社会学科 杉村真子
理事長賞	文学部国文学科 木下絵里加
学長賞	文学部コミュニケーション学科 市川真理子
統理賞	神道学専攻科 神山英基 文学部神道学科 丹生谷悟士
長谷奨学賞	文学部神道学科 田中南帆 文学部国史学科 中屋早貴
社会福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰	現代日本社会学部現代日本社会学科 伊藤寧音
精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰	現代日本社会学部現代日本社会学科 杉村真子
保育士養成課程の卒業生に対する会長表彰	教育学部教育学科 梅本真佑

就職決定率97.5% 令和2年度卒業生就職状況

令和2年度学部卒業生695名(8・9月卒業生を含む)の就職状況は、就職希望者599名のうち就職決定者は584名となり、就職希望者に対する就職率は97.5%となった。

※学科別就職率、分野別就職者については別表参照

神社関係 53名が奉職(自家神社、学部のみ)

求人神社数107社165名(男子127名、女子22名、男女問わず16名)に対し、奉職状況は神道学科が男子41名・女子9名、国史学科が男子1名、女子2名となった。大学院・専攻科等の学部以外は男子11名・女子3名であった。

教職関係 三重県小学校・合格者占有率は県内大学で9年連続トップ

小・中・高の教員に113名(正規/公立42名・私立1名、講師70名)、幼稚園・保育園へは48名(正規/公立19名・私立29名)が就職した。三重県小学校については全合格者230名中、本学は過年度卒業生を含め76名と合格者占有率は33%を占め、9年連続、県内大学でトップを堅持している。

公務員関係 計29名が採用

国家公務員4名【国家一般職(文部科学省)・自衛官(3)】、地方公務員25名【四日市市役所・鈴鹿市役所(2)・津市役所(2)・松阪市役所・志摩市役所・熊野市

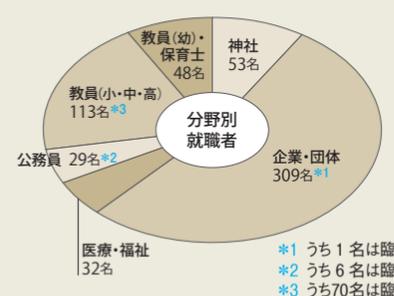
役所・東近江市役所・安芸市役所、大台町役場、愛知県市町村立小中学校職員、四日市市消防本部・東京消防庁・高岡市消防本部、三重県警(4)・大阪府警(3)・滋賀県警・兵庫県警・山口県警】が採用された。

企業関係 企業・団体へは309名が決定

業界別では、卸・小売業29.4%、建設・製造業12.0%、情報通信業11.0%、金融・保険業7.8%、教育・学習支援業4.5%、サービス業・その他35.3%となっている。

今年度の就活環境

新型コロナの影響で採用手法が様変わり。新型コロナウイルスの影響により、令和2年度卒業生の就活では、多くの業界・企業で採用計画の見直しやスケジュールの後ろ倒しが余儀なくされた。例年は募集を終えている時期まで採用活動を継続する企業も多く、その影響から、令和3年度卒(現4年生)の採用計画がなかなか



令和2年度学位記・修了証書授与式 コロナ禍乗り越え704名が巣立つ

令和2年度学位記・修了証書授与式が3月18日に挙行され、学部生(文学部・教育学部・現代日本社会学部)682名、大学院生7名、神道学専攻科生15名の計704名が新たな門出を迎えた。

「この日を迎えた喜びかみしめ、今後の自信に」

令和2年度学位記・修了証書授与式 学位記等交付及び各賞受賞者の表彰を記念講堂にて執り行った。式辞の中で河野訓学長は「大学の最後の一年は一方ならぬ苦勞の連続であったに違いありません」と卒業生を慮り、「あらためて今日、この日を迎えることができた喜びをかみしめ、今後の

自信としてください」と激励。続けて、「どんな時代が到来しようとも、本学で学んだ深遠な学問を培った日本人としての自覚が諸君の一生の基盤となってくれることでしょう」とはなむけの言葉を贈った。

恩賜奨学賞を受賞した服部萌さん(国史)は学修を通じて皇室を敬い、神道の考えを大切にしたいと思うようになった。自身の変化を語り、「恩師の言葉『正直・勤勉・謙虚』を心に刻み、社会人になつてからも日々と目を輝かせた。

真剣に取り組む姿勢を大事にしたい」と話した。大宮司賞に選ばれた松岡奈々夏さん(教育)は中学生の頃から憧れていた教職に就く。「教員をめざす志の高い仲間と一緒に勉強した日々がいちばんの思い出」と学生生活を振り返り、「専門性に満ちた授業やボランティアで学んだことを生かしていけたら」と抱負を語った。同じく大宮司賞に輝いた

立てられなかったケースも見られた。また、この1年で採用手法も大きく様変わりした。「令和3年度卒においてWeb説明会・面接の割合を増やす」と回答した企業は約27%となっており、オンラインツールを活用した就活はより一般的になった。採用手法が多様化する中で、本学においてもWEBによる面談・面接練習・エントリーシート添削等、可能な支援方法を確立し、引き続き全面的なサポートを継続していく。

●保護者対象就職講演会・説明会を開催します。⇒詳細は本紙6面

Regional Collaboration 地域連携

岡本土石工業・第三銀行より プロジェクターの寄贈



次世代教育に役立ててほしいと、岡本土石工業株式会社・株式会社第三銀行より本学にプロジェクター2台が寄贈された。これは三重県紀宝町に本社を置く同社が発行したSDGs私募債に関し、同行が手数料の一部を製品購入に充て、地域の教育機関や福祉施設などに連名で贈る地域貢献活動の一環。

4月28日に本学記念館で行われた寄贈式で河野訓学長は「至近距離から投影できる最新機種なので、場所を選ばず使うことができる。ぜひ学生指導に有効活用させていただく」と謝辞を述べた。

本学では1台を図書館に設置しラーニング commonsでの授業等に、1台は学生への貸出用に活用する予定だ。

大井菜央さん(国文3) デザインの平治煎餅が店頭

公民連携による地域課題解決推進事業「みえdeマッチング」



チョコペンで自由に模様が描ける大井さんの作品

大井菜央さん(国文3)がデザインした平治煎餅「春よ、来い」が令和3年3月6日から20日までの15日間、銘菓「平治煎餅」の店頭に並び話題を呼んだ。三重県では新型コロナウイルス感染症との共存が求められる「新たな日常」に公民連携で対応しようとして、さまざまな主体との協創による地域課題解決推進事業を実施している。民間企業、学生、県職員で構成する同事業の検討会議「アスミエラボ」には本学から3名が参加。その一人、田中翔英さん(現日4)は大学生が地域の中

小企業等を「この企画を通して多くの学生が地元企業に関心を持つてくれたら嬉しい。僕自身、企業の方と関われる貴重な機会をいただいた」と話し、優秀案として作品が商品化された大井さんは「様々な門出のお祝いや平和な日常への願いを込めた。チョコペンで色を付けたりデコレーションをすることで写真映えし、同世代にも興味を持つてもらえるのでは」と思い、考案した」と喜びを語った。



大井菜央さん 田中翔英さん

新任教職員紹介

この春から新たに加わった教職員の方をご紹介します

- ①出身地・経歴等 ②趣味・特技等 ③座右の銘 ④一言メッセージ

皇學館大学

神道学科助教 高野 裕基



- ①神奈川県・元國學院大學研究開発推進機構助教(特別専任) ②ギター ③堅忍不拔 ④微力ながら本学の研究・教育に貢献できるよう努めてまいります。

神道学科助手 新田 恵三



- ①北海道・皇學館大学文学研究科神道学専攻博士後期課程中退 ②社寺参詣、資料探訪中の寄り道、リボベジ栽培 ③倦まず弛まず ④資料との出会いを大切に研究に取り組んでまいります。

国史学科教授 川口 雅昭



- ①山口県・元人間環境大学特任教授 ②吉田松陰先生の研究 ③断じて行えば鬼神も之を避く ④心ある正しい日本人育成のため、教師を志す学生と共に歩みます。よろしくお祈りします。

教育学科教授 勢力 稔



- ①三重県・三重中京大学大学院政策科学研究科博士課程修了、元三重県立宇治山田商業高等学校校長 ②バイクツーリング、登山(軽) ③人間万事塞翁が馬 ④皆さんが教壇に立たれた時、少しでも役立つように! をポリシーにします。

教育学科助教 上野 祐一



- ①三重県・神戸大学大学院理学研究科博士前期課程修了、元三重県立松阪高等学校教諭

- ②高校野球観戦 ③心豊かなれば技冴ゆる ④目標(産物)に向かう中で得られる思いもよらない副産物をみなさんと共に創っていきたくと思っています。

現代日本社会学科准教授 村上 政俊



- ①大阪市(豪州パース)・東京大学法学部卒。元在英・中国日本国大使館外交官補、元衆議院議員 ②能楽(観世流)、茶道(裏千家)、将棋(アマ初段) ③国家安康 君臣豊楽 ④倉田山での研究教育を始めるにあたり直階を取得しました。師長のお導きを願います。

神職養成部神職養成担当課長 北野 貴之



- ①京都府・皇學館大学文学部国史学科卒。元熱田神宮権禰宜 ②音楽鑑賞(吹奏楽)、トロンボーン ③楽は苦の種 苦は楽の種 ④神職の経験を活かし、学生の皆さんのサポートに努めます。宜しくお祈り致します。

学生支援部就職担当書記 高橋 葵



- ①三重県・名古屋外国語大学現代国際学部現代英語学科卒 ②旅行、ドライブ ③雨が降れば傘をさす ④学生一人ひとりに寄り添ったサポートを心がけ、日々努力してまいります。

学生支援部教務担当書記補 木下 涼一郎



- ①三重県・皇學館大学文学部国史学科卒 ②サックス、水泳 ③習慣は第二の天性なり ④感謝を忘れず、日々成長し続けていきます。

学生支援部学生担当書記補 世古 拓摩



- ①三重県・中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科卒 ②サッカー ③凡事徹底 ④学生が充実した学生生活を送れるよう全力でサポートしていきます。

学生支援部学生担当事務嘱託(クラブ合宿所) 四田 大成



- ①兵庫県・皇學館大学現代日本社会学部現代日本社会学科卒 ②ウエイトトレーニング ③失敗しても当たり前、成功したら男前 ④寮の学生たちにより良い寮生活ができるようにサポートしていきます。

学生支援部教職支援担当 教職アドバイザー 東谷 利和



- ①三重県・皇學館大学文学部国史学科卒、元中学校長 ②旅行 ③初心忘るべからず ④これまでの経験を活かし、教職を目指す若い皆さんのために尽力します。

学生支援部教務担当 国史学科事務助手 山邊 敬枝



- ①愛知県・皇學館大学文学部国文学科卒 ②お菓子作り ③和を以て貴しとなす ④学生の皆さんに寄り添った、明るく温かなサポートをしていきたいと思っています。

学生支援部学生担当 精華寮寮長 横手 正剛



- ①長崎県・元海上自衛隊艦長 ②街歩き、酒を嗜むこと ③正しく 剛く 面白く ④これまでの経験を生かし寮生の24時間を強力にサポートします。

皇學館高等学校

高等学校 学監 芝崎 俊也



- ①三重県・皇學館大学文学部国史学科卒、元三重県立宇治山田高

等学校校長 ②史跡巡り ③すべてのことに意味がある ④教職経験を活かし、教育活動に精一杯取り組んでいます。

高等学校常勤講師 野呂 明日香



- ①三重県・皇學館大学文学部国史学科卒 ②旅行、音楽鑑賞 ③負けられない心 ④一日一日を大切に、生徒とともに成長できるよう、日々努力して頑張ります。

高等学校常勤講師 松田 拓



- ①三重県・元熊野市立有馬小学校教諭 ②散歩、旅行 ③十人十色 ④生徒のみなさんがよりよい学校生活を送れるようにがんばります。

高等学校常勤講師 東浦 啓子



- ①三重県 ②授業をすること!! (化学を教えること!!) ③Never Give Up!! ④一人ひとりの周辺の世界が広がり、再発見をし、感動できるような授業ができることを心掛けております。

高等学校養護助教諭 坪井 美樹



- ①三重県・名古屋学芸大学ヒューマンケア学部卒 ②ツーリング ③鴨の水掻き ④少しでも生徒の力になれるよう精一杯頑張ります。

皇學館中学校

中学校常勤講師 坂口 実優



- ①三重県・皇學館大学文学部コミュニケーション学科卒 ②読書、料理 ③初心忘るべからず ④生徒一人ひとりに寄り添い、共に成長していけるよう精一杯頑張ります。

Global グローバル

社会福祉士・精神保健福祉士の合格率、全国平均を大幅に上回る

現代日本社会学科・福祉展開コースの令和2年度卒業生における社会福祉士合格者は3名(合格率50%)、精神保健福祉士合格者は2名(合格率100%)となった。いずれも全国平均の合格率(社会福祉士29.3%、精神保健福祉士64.2%)を大幅に超える結果となり、国家資格を取得した卒業生の活躍が期待される。

伊勢市との連携事業 第8回「伊勢」と日本スタディプログラムを開催



旧御師丸岡宗大夫邸で説明を受ける(3月16日)

日本学を専攻する外国人の大学院生等が神道や伊勢の歴史・文化についての学びを深め、各国へ情報発信を行うことを目的とする「伊勢」と日本スタディプログラムが本年も3月8日~20日までの間、本学を拠点で開催された。

本年はコロナ禍の影響を受け、プログラム期間を2週間に縮小。国内の大学院に在籍する留学生等10名で実施予定であったが、2度目の「緊急事態宣言」の影響により、最終的に計6名での実施となった。また、参加者は事前にPCR検査を受検し、「陰性」確認を行った上で日々の感染対策を徹底し、本学での講義や伊勢市内での実地学習に臨んだ。

「古市の昔と今」とのテーマで成果発表を行ったアズマ・マリコさん(米国)は閉講式において、「神道は日本文化の基盤として、時代を問わず、多様で複合的な文化や歴史の形成、その発展・維持に永らく影響を与えてきた。伊勢はそのことを学ぶのに最適な場所であった」と述べた。また、チャーピレー・イグナスさん(リトアニア)は「コロナの脅威にも負けず、プログラムが実施されたことに感謝している。今後も皇學館大学と伊勢市は世界中から様々な人々を集め、「伊勢」と日本の魅力を発信し続けてほしい」と話した。

第2回 英語発信力コンテスト 個人・最優秀賞は鎌田ゆいさん

本学コミュニケーション学科主催の第2回英語発信力コンテストが開催され、以下の動画作品が優秀作品に選ばれた。

個人・最優秀賞は鎌田ゆいさん(教育4)。ポイ捨てが動物たちに与える影響について、前半は猫の視点から、後半は科学的な面から説明している。鎌田さんは動画をきっかけに1人でもポイ捨てする人が減ってほしいと訴えた。団体・最優秀賞には劇「Tangled the series」が選ばれた。18年間、森の塔で暮らしてきた少女ラプンツェルが大泥棒フリンのとの出会いをきっかけに魔法の髪に導かれ、未知の世界へ飛び出す内容。メンバーはマスクをした状態で表情を伝えることが難しかったと苦労した点を振り返りつつ、皆で力を合わせた結果が賞となり、劇作りを通して互いの距離が縮まったと喜びを語った。

【個人部門】 (学年は受賞時)

最優秀賞 鎌田ゆいさん(教育4)
The effect of littering on animals(スピーチ)

優秀賞 王子源さん(現日4)
日本における食品ロス(プレゼンテーション)

【団体部門】

最優秀賞 English education seminar MKT31(教育3)
Tangled the series(劇)



Zoomでの語学研修を楽しむ参加者たち

研修開始前に行われたプレースメントテストにより、レベル別に編成された。クラスの平均サイズは10名程度で、午前中にZoomによる2時間半の授業を受け、午後は同大学のポータルサイトに接続しての課題学習(2~3時間)に取り組んだ。授業では各参加者の発言回数が均等になるよう配慮がなされ、ペアもしくはグループワークが多く取り入れられるなど積極的な参加を促す工夫が施された。また、担当講師による各自のレベルに合わせた指導も好評だった。参加した中川優希さん(コミ3)は「文法・長文読解・速読など、授業内容は多種多様だった。毎日の課題にはしっかりと添削やコメントが返ってくるので、学習意欲が湧き、よく理解できた」と研修終了後に感想を述べた。また、2月25日に行われた現地学生との交流会に浴衣姿で参加した西まどかさん(同)は「英語はもちろんニューージーランドの文化や歴史も学ぶことができて、毎日が楽しかった。渡航が再開したら、現地へ赴いて学んでみたい」と意気込んでいた。

本学初! 海外協定校とオンライン語学研修を実施

2月15日~3月5日までの間、ニューージーランド・ワイカト大学との間でオンラインによる短期語学研修を実施し、学生11名が参加した。

令和2年度はコロナ禍の影響を受け、海外への渡航が困難な状況が続く、夏期・春期ともに海外語学研修・留学が軒並み中止となる中、唯一オンラインにより同研修が実施された。クラスは金沢大学や関西大学等との混成で組まれ、

TOEIC 700点突破した学生に聞く! 英語学習のコツ

英語サポータープログラムを利用し尽くす

TOEICスコア 250点アップ



英語力を生かし、所属する大学生テレビ局で制作した番組を英語に翻訳しYouTubeで配信したことも

「ひとりで海外旅行をする」を目標に、実践重視で勉強しました。リスニングの向上に効果を感じたのは、英語音声学とメイヨー先生のゼミにおいてです。毎週英語で発表したり、リスニング音声のスピードにあわせて英文を何度も読

英語を学ぶ理由を明確に

TOEICスコア 355点アップ



語学力アップに励む傍らサッカー部での活動にも力を注ぎ、充実した学生生活を送っていると話す横山さん

英語は自分の世界を広げてくれるツール。いつか世界中を旅して他国の歴史や異文化に触れ、幅広い教養を身に付けたい。そんな思いから英語を学び始めました。履修した授業はTOEIC上級、英語表現上級、英文法基礎。英国夏

教育学科3年 横山 椋大さん

英語学研修のほか、百船グローバルラウンジでの英会話サロンを日常的に活用しました。リスニング力と文法力が身に付いたおかげで、英語力の基盤が強固になり、また、ネイティブの先生と英語で会話ができるようになったことで自信も付きました。英語学習初心者の方は、なぜ英語を勉強するのか自問してみてください。英語を学ぶ目的を明確にすると意欲が湧き、行動につながりますよ。

宮田知美さん、神谷萌日さんが三重縣護國神社初の女子神職に

平和の礎となった御英霊を祭神とし、三重県にゆかりのある6万300余柱を祀る三重縣護國神社(津市広明町)。同社初の女子神職として本学の卒業生である宮田知美さん(国史 平成30年度卒)、神谷萌日さん(神道 令和元年度卒)が奉職し、注目を集めている。



宮田さん(左)と神谷さん

神職をめざして本学に進学したふたり。宮田さんは一度企業に就職したものの、神職への道を諦めきれず転職を決意。「女性だから」とはあまり意識していない。御英霊を祀る神社であるので、日本を守る気持ちで、使命感をもって奉仕していきたい」と抱負を語った。

神谷さんは「女性ならではの視点を生かしたい」と話し、「御英霊が願われていたのが、これからの日本を担う子どもたちの成長と健康。教員免許を取得する際に学んだことも役立てながら、子どもが神社に関われる企画を立てたい」と意欲を語った。

現日生が優秀賞、佳作を受賞 33FGビジネスプランコンテスト2020

優れたビジネスプランを掘り起こし地域経済の活性化に繋げようと開催されている「33FGビジネスプランコンテスト2020」【学生コース】において、尾崎友則さん、森井洸樹さん(現日3)の「地域×福祉 高齢者のためのマイクロツーリズム」が優秀賞、別當知明さん、上村道也さん(現日3)の「伊勢のめでたい!! あじだいこん!!」が佳作に選ばれた。

尾崎さん、森井さんは伊勢市の課題である「中心市街地・商店街の衰退」と「福祉従事者の減少」に着目。高齢者が商店街や観光地へ出かける際の行動支援を大学生が無償有償いずれかの形で担い、得られた意見や情報をまちづくり活性化事業に生かすプランを考えた。

別當さん、上村さんは特産品ながら知名度に欠ける伊勢のおでん大根・御菌大根にスポットを当て、「あじだいこん専門店」の立ち上げを提案。店舗・ネットでの販売網を拡充し地産地消の推進、ひいては地域の高齢者、障がい者雇用へと繋げる。

今後の実現を期待したい。

高中で卒業式・入学式を挙行

中学校卒業式はセミナーホールで開催され、中さんが答辞を読み上げた



3月1日に皇學館高校第56回卒業証書授与式を挙行し、383名がそれぞれの道へと新たな一歩を踏み出した。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から卒業生と教職員のみが参列。保護者はライブ配信という形で式典参加にご協力いただいた。答辞を述べた田村優我さんは先生方をはじめ仲間、家族への感謝の気持ちとともに「どれも本当にかげがえのないできごとばかり」と学び舎での3年間に思いを馳せた。同月13日には皇學館中学校で第40回卒業式が執り行われ、39名が巣立った。答辞を読み上げた中ひなのさんは日々の学校生活でチームワークや団結心が養われたこと、また、コロナ禍によって、周りに支えられて今の自分たちがあることに気づかされた振り返った。



記念講堂にて行われた高校の卒業式



宣誓する田中さん(中学校)



堂々と宣誓する山本さん(高校)

そして、一人ひとりが持つ個性を大切にしながら、魅力ある皇學館中学校を創り上げてと後輩へエールを送った。

4月7日には皇學館中学校、同月9日に皇學館高校の入学式が開催され、中学校は26名、高校は323名が入学した。昨年度と同様、保護者(高校)や在校生は参列せず、新入生は全員マスクを着用して式に臨んだ。新入生を代表して中学校では田中利玖さんが、高校は山本拓実さんが入学を許可された喜びと誇りを胸に、力強く宣誓した。

高校・中学校

高校

本校と高田短大が 高大教育交流協定を締結

本校は高田短期大学と高大教育交流協定を締結し、3月3日に調印式を行った。以前より同短大の先生をお招きして学校説明会や進路ガイダンスを実施するなど交流を図ってきたが、昨年12月に皇學館大学と高田高校が高大連携に関する協定を結んだのを機に同短大より呼びかけがあり、締結に至った。協定の主な内容は次の通り。



高田短大にて執り行われた調印式

- ◆教育の向上に資することを目的として、教育に関する情報交換、教育連携の研究、その他双方が協議し合意した高大教育交流事業を行う。
 - ◆高大教育交流事業として高田短大は正規科目の開放、高校生を対象とする特別講座の開講、本校の授業・講座・ガイダンス等への教職員の派遣等を行うことができる。
- 調印式で同短大の梅林久高学長は「新たな交流を通じて地域の教育の発展に尽くしたい」と述べ、木村元茂校長は「卒業後のイメージづくりを具体的にしたい思いがあった。連携を盛んにし、広く知識を得る場を設けたい」とさらなる交流・連携の活発化に期待を寄せた。なお、協定締結期間は3年間で随時更新する。

合格者インタビュー 6年制卒業生

夢を実現すべく志望校に合格した3名に
今後の抱負や後輩へのメッセージを語ってもらった。

自分に合う勉強法を早く見つける

松本幸子さん ◆京都大学 医学部人間健康科学科

私は毎日当たり前のことに手を抜かないよう意識していました。短期間で目標にたどり着くことはできないと思い、少しずつ努力を継続して積み重ねていきました。また、自分の得意不得意を把握することも意識しました。今は多種多様な情報を得られますが、自分に合うものを取捨選択することでベストの勉強法を見つけることができると思います。



今後の目標として、筋肉や骨格についての研究をしたいと思っています。整った研究設備のもと素晴らしい先生方からたくさんのことを吸収したいと考えています。これからも様々な壁にぶつかると思いますが、これまで身につけた経験を生かして頑張ります。

苦手科目の克服を重視

城山久瑠実さん ◆大阪大学 外国語学部英語専攻

高校時代は日頃の授業と定期考査に真剣に取り組ましました。その中で、苦手科目を克服することを重視していました。私は国語が苦手だったので、2年生の頃から定期的に問題を解くようにし、ほぼ毎日文章を読むようにしていました。



私は将来、航空管制官になりたいです。そのためには語学力だけでなく、レーダーなどの機械や、気象に関する知識など幅広い分野の知識が必要になります。文系科目に留まらず、様々なことが学べる総合大学の強みを生かし、あらゆることに好奇心旺盛にチャレンジしていきたいと思っています。

的を絞り、時間を有効活用

谷口紗保さん ◆三重大学 医学部医学科

私は受験勉強において時間の使い方に苦労しました。した方がいいことは次から次へと出てきます。しかし全てをこなすことはできず、睡眠時間だけが削られていきました。そこで私はやらなければいけないことに的を絞りました。宿題は授業の復習として必ず家で済ませました。予習はあまり力を入れず、なるべく授業中に内容を理解するようにしました。分からないことは後で友達に聞いたりするなど、家に持ち帰らないようにしました。



私の目標は大学で三重県の医療面の課題を学び、医師不足の地域で活躍することです。どの診療科が不足しているのか、どの地域で医師不足が深刻なのかなどを知り、自分ができる最善を尽くしたいと考えています。

1人1台のiPadを配備

情報通信技術 (ICT) が急速に発展する中、新たな時代「Society 5.0」を生き抜く生徒たちに求められるのは情報を正確に読み解き対話する力や、論理的思考力をもとに他者と協働して様々な課題を解決に導く力。ICTの有効活用はそれを実現させるための手段として、本校では令和3年度より生徒全員にiPadを貸与し、様々な場面で積極的な活用を進めています。授業支援ソフトや学習ドリルソフトを新たに導入し、「双方向型授業」「発展的な協働学習」「個々の理解に応じた(個別最適化された)学び」をさらに推進。生徒が主体的・対話的に思考し、深い学びへとつなげる従来の教育をより発展させ、さらにiPadの持ち帰りにより、「学校と家庭を繋いだ効果的な学習」をも目指します。また、学力向上と同時に情報モラルや情報セキュリティについても理解を深め、一人ひとりが安全かつ適切に使いこなせるようになるための指導も積極的に実施していきます。



iPad活用に向けたオリエンテーション

教務部 (ICT担当) 吉田康人

中学校

イベントカレンダー

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、変更・中止となる場合がございます。

お問い合わせは皇學館大学地域連携推進室へお願い致します。TEL.0596-22-8635

近鉄文化サロン阿倍野 共催講座

会場●近鉄文化サロン阿倍野
詳細は近鉄文化サロン阿倍野(TEL.06-6625-1771)へお問い合わせください。有料・要予約

6/19(土) 15:30~
1日・短期講習会
ヤマトタケル 交通拠点を旅する
講師●遠藤慶太(文学部国史学科教授)

7/3(土) 15:30~
1日・短期講習会
『伊勢参宮名所図会』を読む
講師●岡野友彦(文学部国史学科教授)

7/24(土) 15:30~
1日・短期講習会
『日本書紀』を読む「仁徳天皇(1)」
講師●大島信生(文学部国文学科教授)

7/31(土) 15:30~
1日・短期講習会
「近代」を見た渋沢栄一：パリ万博参加と西欧体験
講師●長谷川怜(文学部国史学科助教)

8/7(土) 15:30~
1日・短期講習会
神道と仏教「社寺と妙見信仰」
講師●河野訓(学長・文学部神道学科教授)

8/28(土) 15:30~
1日・短期講習会
『日本書紀』を読む「仁徳天皇(2)」
講師●大島信生(文学部国文学科教授)

9/4(土) 15:30~
1日・短期講習会
「後醍醐天皇像」を読む
講師●加茂正典(文学部神道学科教授)

生涯学習事業 受講料無料

令和3年度 皇學館大学 月例文化講座
オンデマンド講座のご案内

「オンデマンド講座」とは、インターネットで接続されたパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどを使用し、事前に収録したものを受講する形式です。配信期間内であれば、自由に何度でも視聴が可能です。

- 【年間のテーマ】
令和新时代に求められるコミュニケーション
～コミュニケーション学科創設20周年を記念して～
- 6月 ノンバーバル・コミュニケーションの役割
講師●芳賀康朗 教授
 - 7月 新時代のコミュニケーションツールとしての地図 ―ハザードマップと旧版地形図の読み方―
講師●桐村 喬 准教授
 - 8月 言語の違いが物事の捉え方に及ぼす影響
講師●玉田貴裕 助教
 - 9月 令和を生き抜く感情コントロール方略
講師●高沢佳司 准教授
 - 10月 海を渡った日本古典
講師●クリストファー・メイヨー 教授
 - 11月 対人関係とストレスの心理学
講師●中山 真 准教授
 - 12月 英語教科書からみる英語教育の変遷
講師●豊住 誠 教授
- 定員●各回 90名(先着順)

受講のための準備・注意

- パソコン、タブレット端末、スマートフォンのいずれかをご準備ください。
- Wi-Fi環境下など、安定した通信環境での受講をおすすめいたします。
- 通信にかかる費用は、受講者のご負担となります。
- 講座については、中止または内容が変更になる場合があります。

申込方法

- ①二次元バーコードを読み込む、または下記URLにアクセスし、申込フォームに必要事項を入力してください。
https://www.kogakkan-u.ac.jp/about/lecture_bunka.php
 - ②申込後、ご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLをお送りいたします。配信日まで大切に保管してください。
- ※「@kogakkan-u.ac.jp」及びパソコンからのメールが受信できるよう、事前に設定をしてください。
※新型コロナウイルス感染症予防のため、来学によるお申し込みはご遠慮願います。また、お電話での受付もありません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 ●皇學館大学 地域連携推進室
TEL.0596-22-8635

Information インフォメーション

人事異動

令和3年4月1日付

()内は旧職

大学

採用

文学部特命教授 川口 雅昭
文学部助教 高野 裕基
文学部助手 新田 恵三
教育学部特命教授 勢力 稔
教育学部助教 上野 祐一
現代日本社会学部准教授 村上 政俊
神職養成部神職養成担当 北野 貴之
課長 高橋 葵
書記 木下涼一朗
書記補 世古 拓摩
学生支援部学生担当 佐野かおり
学生支援部学生担当 四田 大成
学生支援部学生担当 東谷 利和
学生支援部教職支援担当 山邊 敬枝
学生支援部事務助手 横手 正剛
国史学科事務助手 精華寮寮長

再任用

学生支援部就職担当 伊東 雅法
事務嘱託 一路 侑杜
書記 角谷 千尋
総務部総務担当 (財務部会計担当書記補) 渡邊 毅
教育学部教授 中條 敦仁
教育学部准教授 (教育学部准教授) 渡邊 毅
教育学部教授 (教育学部准教授) 渡邊 毅

昇格

学生支援部教務担当 一路 侑杜
書記 角谷 千尋
総務部総務担当 (財務部会計担当書記補) 渡邊 毅
財務部管財担当 西村 和行
技術嘱託 (学生支援部学生担当学生寮技術嘱託) 西村 和行

職種換

総務部図書館事務室 森本 紋菜
司書(業務職1級) (総務部図書館事務室事務嘱託)

採用

学生部長 齋藤 平
教育開発センター長 筒井 琢磨
学生支援部学生担当 右田 麻弓
主幹 (学生支援部学生担当主事) 諸岡 大輔
総務部総務担当 (総務部総務担当主事) 諸岡 大輔
主幹 (総務部総務担当主事) 諸岡 大輔
財務部会計担当 藤原 亜以
事務職2級 (財務部会計担当事務職1級) 藤原 亜以
学生支援部学生担当 伊東由美子
看護師(業務職3級) (学生支援部学生担当看護師(業務職2級)) 伊東由美子
看護師(業務職2級) (学生支援部学生担当看護師(業務職1級)) 伊東由美子
総務部図書館事務室 井上 真美
司書(業務職2級) (総務部図書館事務室司書(業務職1級)) 井上 真美

昇級

高校学監 芝崎 俊也
高校常勤講師 野呂明日香
高校常勤講師 松田 拓
高校常勤講師 東浦 啓子
高校常勤講師 坪井 美樹
高校常勤講師 坂口 実優
高校常勤講師 上村 朱香
高校常勤講師 (高校常勤講師) 野坂 康祐
高校常勤講師 (高校常勤講師) 森田 彰

配置換

現代日本社会学部准教授 藤井 恭子
(文学部准教授) 藤井 恭子
学生支援部就職担当 中井 良明
課長 (学生支援部教務担当課長) 中井 良明
中学校教諭 西 巧
(中学校常勤講師) 西 巧
中学校教諭 平賀 活行
(高校教諭) 平賀 活行

学術情報等、デジタルコンテンツの充実を図る

附属図書館では学生の学修・研究のため様々な学術情報・サービスの提供を行っており、従来、その内容は「図書」「雑誌」「DVD等視聴覚資料」のような手に取る事ができる資料の活用を中心としていた。

しかし、最近では「ネットで検索(閲覧・視聴)できないものは無いのと同じ」という言葉が聞かれるようになり、学修・研究の基盤である学術情報についても同様の状況となってきた。情報機器の変化や、今も続く新型コロナウイルスの影響もあり、附属図書館でも「物」に依存しない「デジタルコンテンツ」の提供を行っている。

令和3年度には、「データベース」の新規契約やライセンスの増設を行い、ICTを活用した学生の事前・事後学習や論文執筆にも利用されている。ここで言う「データベース」には、次のような種類がある。

「ヨミダス歴史館」「WEB神社新報」では、新聞記事検索により、紙面や記事が閲覧でき、「日経BP記事検索サービス」では、論文・雑誌記事や情報を閲覧できる。このほか、学生に最も利用されている事典・辞書データベースとして、「ジャパンナレッジLib」がある。

附属図書館では、データベース以外にも、本学の教育・研究成果や所蔵資料の公開による学術情報の提供も推進している。「皇學館大学学術リポジトリ」では、『皇學館大学紀要』を始めとする刊行物や論文等を公開しており、Web上で閲覧・ダウンロードができる。

また、令和3年4月には、本学が所蔵する古文書・古籍籍をデジタルコンテンツとした「皇學館大学デジタルアーカイブ」の公開を開始した。今後、研究開発推進センター、館史編纂の協力を得て公開コンテンツの充実を図る。

皇學館大学学術リポジトリ
<https://kogakkan.repo.nii.ac.jp/>

皇學館大学デジタルアーカイブ
<https://tr-adea.crc.jp/WJ110/WJ150J/242035100>



卒業式衣裳レンタル学内展示会開催!

早期展示会でお気に入りの1着を見つけよう!

7/1 (木) 10:00~16:00
7/2 (金) 10:00~16:00

場所 9号館5階 951大会議室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、展示会は内容変更、中止(または延期)する可能性があります。詳細は、皇學館サービスHP及び学内掲示板にてご確認ください。

すぎしんスペシャル特典

- 1 当日は学内または外宮前特設会場では着付・ヘアアレンジができるので、手ぶらでラクラク!
- 2 学内で脱いでそのまま帰るのでとっても便利!
- 3 レンタル価格より10%OFF
- 4 半巾着、きんちゃんく、草履を無料レンタル
- 5 謝恩会のゲストドレスがどれでも6,000円でレンタル!

お問い合わせ 皇學館サービス株式会社 TEL.0596-22-8561 E-mail k-service@kogakkan.co.jp

皇學館サービス株式会社は学校法人皇學館100%出資会社です。
【取扱商品】各種保険・下宿斡旋・旅行・貸衣裳・スーツ他

衣袋提携先 SUGISHIN
すぎしんは創業68年を誇る三重県最大の老舗衣裳店です。

導きに応じて

神道学科 白 杵 浩 秀

就職先 大阪天満宮



在学中は青春謳歌といいつつ、実は自堕落的な暮らしぶりに悔いが残る。

しかし、無意味、無駄に見える行為こそ、学生生活の証であったのではないかとも思っている。

郷里の被災地では食料・水・服・紙製品・募財などを頂き、入学の際は費用を減免していただいた。神殿を有した寮で2年間共同生活を送り、先輩から家電家具を譲り受けた。骨折した際は保健室の先生が松葉杖を貸してくださいました。大学では様々な機会を与えられ、その有り余るリソースを活用しきれなかったことが悔やまれるが、大変、恵まれた環境にあったと思う。

このような恩恵は導きによるものでしかない。今まで御蔭を戴いた分、これから返そうと思う。そして、照覧する幽冥の導きに応えられるよう、慎んで怠ることなく、一日一日を努めていきたい。

素晴らしい先生方と仲間に出会えた

国文学科 下 村 紗 瑛

進学先 皇學館大学大学院



キャンパスライフに緊張と期待を抱いていた入学当初、4年間の大学生活は極々長いものだと思っていた。だが、満ち足りたこの4年間は、あっという間に過ぎていった。本学に入学して一番良かったことは、素晴らしい先生方と仲間に出会えたことである。授業やゼミの課題など友人に助けられたことも多く、楽しい日々を過ごせた。少々難局に見舞われることもあったが、有意義な学生生活を送ることができたといえる。

また、所属した中古文学ゼミでは『源氏物語』について研究し、その面白さと奥深さを知ることができた。卒業論文では先行研究に新見を提示し、4年間の学修の集大成となった。

卒業後、大学院に進学し、『源氏物語』における語り手について研究する。先行研究に異を唱え、見識を示せるよう日々精進していきたい。ゆくゆくは研究者を志すつもりである。

「正直・勤勉・謙虚」を胸に

国史学科 服 部 萌

就職先 株式会社CSCサービス



思い出となりゆく日々を名残惜しみつつも、それは非常に満ち足りた時間であったことを実感します。恩師や友人、本や言葉、多くの出会いは私を成長させてくださいました。また、興味深い授業の数々、フィールドワークといった学びを深める機会にも恵まれました。まるで柔らかい陽だまりに包まれているような、穏やかで心地よい毎日でありました。

とりわけ印象に残っている3つの言葉があります。「正直・勤勉・謙虚」です。お世話になった教授が「人生において大切なこと」として、度々お話してくださいました。その度にノートに書き留め、繰り返し意識して過ごしておりました。後に就職活動や卒業論文に臨んだ際にも、実践出来たと思います。

振り返ると、様々な出会いに支えられた4年間でありました。はかり知れないご恩に報いるべく、今後も努めて参ります。

私の人生を変えたCLL活動

コミュニケーション学科 玉 津 由 梨

就職先 株式会社ココカラファイン



4年間というのはもっと長く感じるはずなのに、本当に短く感じた。皇學館大学に入学して、素敵な友だちができて、たくさん遊んで写真を撮った。私には何にも代え難い思い出がたくさんできた。この学生生活の中で打ち込んできたCLL活動「広報いせプロジェクト」は本当に私の人生を大きく変えた。様々な学生や社会人と交流でき、卒業作品でもオリジナルの広報を作成した。この経験を通して、何事にも意欲的に「まずやってみる」ことの大切さを知った。

入学当初から有り難いことに伊勢で一人暮らしをさせてもらい、何の不自由もなく4年間を過ごすことができたのは、他でもない両親のおかげだ。これからは不安でいっぱいの人になるわけだが、少しずつになってしまふかもしれないが、両親にたくさん恩返しをしていくつもりだ。

大変な時期の中、大学生活を過ごされている学生の皆様、思うようにいかないことが多いと思いますが、友だちに会ったときにはたくさんの思い出を写真に残し、家族には感謝の気持ちを伝えてください。

卒業生随想

春からそれぞれの志す道を歩き始める卒業生たち。彼らの胸中に去来するさまざまな思いを語ってもらった。学生生活を振り返り、

入った大学でどう頑張るか

教育学科 堀 口 響 生

就職先 三重県小学校教員



「皇學館大学教育学部で良かった」としみじみ思う現在である。第1志望だった大学を不合格となった私は、自己肯定感が低下し、劣等感を抱く日々を過ごしていた。そんな私を激変させてくれたのは、3年生から始まるゼミ活動であった。先生や、いつも周りにいる仲間達に刺激されたことで、「これから頑張ればいだけなんだ」と思えるようになった。行きたい大学に合格するのがゴールではなく、入った大学でどう頑張るかということが最も大切なのだ。このような意識の変化によって、目の前のことからコツコツとこなしていくようになり、目標のスタート地点である教員採用試験合格を果たすことができた。「継続は力なり」。新生活に期待と不安を抱く現在であるが、恩師に頂いたこの言葉を胸に、教師としての精進を重ねていく所存である。

皇學館で学んだことを誇りに

現代日本社会学科 柴 原 未 菜

就職先 志摩市役所



皇學館大学での4年間は主体的に物事に取り組む力を培った期間であった。入学以前は自分から行動を起こすということが苦手であった。しかし現代日本社会学部の講義やゼミを通じ自分を良い方向に変えていくことができたと思う。また課外活動にも力を入れた。大学では課外活動に対する支援が充実しているため、1年次はCLL活動、2・3年次は地元でボランティア活動を積極的に行った。これらのことが卒業論文や就職活動にも繋がっていった。ゼミの仲間、一緒に活動してくれた先輩後輩、公務員試験の勉強を共に頑張った友だちの支えがあり充実した毎日であった。

高校入学から7年間皇學館で学んだことを誇りに思い、これからは社会人として地域に貢献していきたい。

最後に、指導教員をはじめお世話になった先生方に感謝しています。本当にありがとうございました。

回り道をしたからこそ見えた景色

神道学専攻科 本 郷 智 裕

就職先 護王神社



専攻科に入って良かった。本当に心の底からそう思っている。

「新型コロナウイルス」に非常に悩まされた1年間であった。入学式や倉陵祭など、様々な行事やイベントが中止・規模縮小となり、オンライン授業やリモート実習が行われるなど、例年とは全く異なった学生生活を送ることとなった。

しかし私は、非常に充実した1年間であったと思っている。専攻科では様々な経歴を持った方々が集い、皆が同じ目標に向かって切磋琢磨していく。専攻科に入ったからこそ出会えた仲間がいて、学べたことや経験できたことがある。この1年間は人生にとって少し遠回りをした1年間かもしれない。しかし、この回り道があったからこそ、見えた景色があると思っている。

専攻科に入って本当に良かった。入学を後押ししてくれた両親や祖父母、1年間お世話になった先生方や大学関係者の皆様に心から感謝したい。

濃厚で充実した2年間

大学院国史学専攻 扇 野 耕 多

就職先 NPO法人 松阪歴史文化舎(学芸員)



思えば、大学院に入学してからの2年間はとても充実したもので、学部では味わえないような濃厚な時間を過ごすことができた。まず、大学院の講義や演習は学部と比較して水準が高いため、授業の準備は大変であった。しかし、先生方からのご教授や、その内容に関して議論を重ねていくことで、歴史学に対する理解を一層深めることができた。

また授業のほかに、史料の整理や展示の補助をさせていただく機会があった。そこでは、史料の扱い方や調査方法、展示方法などの専門的知識が得られたばかりではなく、それを未来へ伝えるとともに、展示によってより多くの人々へ伝えることの大切さを学んだ。

最後に、ご指導してくださいました先生方、先輩方には大変お世話になった。この場を借りて感謝申し上げたい。この2年間で学んだことを今後役に立てていきたい。

【特別企画】学長 × 学生座談会

～コロナ禍の一年を振り返って～ コロナで得た学びと気づき



新型コロナウイルスの影響により大学生活が一変した令和2年度。オンライン授業の導入や対面機会の減少・中止が相次いだ就職活動、新しい生活様式への対応などコロナ禍に揺れた一年を振り返り、齋藤平教育開発センター長(取材時)の司会のもと、学長、学生たちが率直に意見を交わした。

一長一短のオンライン授業

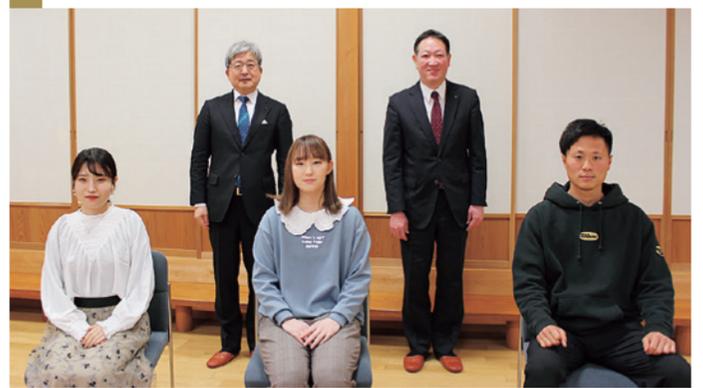
齋藤教授 ● 本学では他大学に先駆け5月の連休までに春学期全体の約6割にあたる科目をオンライン開講しましたが、前例のない状況に戸惑うこともあったと思います。オンライン授業を受けた感想を聞かせてください。
鈴木 ● 時間をコントロールしやすく、難しいところは繰り返し視聴できた点が良かったです。一方で、録画だったので講師とのコミュニケーションが取れず、長時間の授業は集中力を維持するのが大変でした。

齋藤教授 ● 我々教員にとってもオンライン授業は未知の領域で試行錯誤の連続でした。リアルタイムで授業を配信する案も検討しましたが、学生たちのネット環境を考慮し、随時視聴できるオンデマンド方式を採用しました。じつは先生方には授業の組み立てについて、15分の講義と確認の小テストや意見交換などで30分の塊を作り、それらを3つ併せて90分にしてほしいとお願いしてあったのですが、講義が長時間となった授業があったのは反省点です。次に視聴状況を分析すると、1つのコンテ

河野学長 ● 一日も早くこの思いはあっても、政府や三重県の動きを注視しつつ、たとえば通学に際し電車が密になつてはいけないなど学外や周りの状況を含めて総合的に判断する必要があります。結果、ゼミや大学院等の科目は5月25日から、受講者100名以内で対面指導が可能な科目は6月1日からと段階的に再開しましたが、関東圏の大学などはほぼ1年間オンライン授業であったことを考えると非常に早かったと思います。

- 河野 訓 学長
齋藤 平 教授(教育開発センター長)
西澤 美羽さん(国史4年)
中妻 和哉さん(教育3年)
鈴木 美結さん(現日1年)

※学年は取材時



3月15日に記念館で行われた座談会
後列左から河野学長、齋藤教授、前列左から西澤さん、鈴木さん、中妻さん

令和2年度「デキプロロジ」行事日誌

大 学

- 4月 入学式
- 3月 春学期通常講義開始(オンライン授業) 9月12日 通常講義終了
- 30日 創立記念日
- 5月 ゼミ科目(初年次ゼミ、3・4年ゼミ) 大学院科目の対面授業再開
- 25日 体温を測ろうキャンペーン(検温所設置) 6月6日
- 29日 臨時大祓式
- 6月 対面授業再開(受講者100名までの科目)
- 1日 学校見学・入試説明会(三重県内在住の受験生対象)
- 7日 学校見学・入試説明会(附属高校生対象)
- 13日 対面授業再開(受講者1000名までの科目)
- 19日 特待生・特待生奨励会、大学院奨学金授与式
- 20日 学校見学・入試説明会(三重県内在住の受験生対象)
- 25日 チャレンジプロジェクト公開プレゼン
- 27日 高松奨励賞授与式
- 7月 共催講座 1日「短期講習会(日本書紀)」を読む 応神天皇(2)
- 大島信生(国文・教授)
- 8月 オープンキャンパス(受験生のみ対象)
- 9日 「Webオープンキャンパス」サイトオープン
- 9月 「みえミュージアムセミナー」講演セミナー(日本書紀に学ぶ)
- 10日 荊木美行(研究開発推進センター・教授)
- 12日 共催講座 1日「短期講習会(皇室の基礎知識Ⅳ―天皇陵の歴史―)
- 松本丘(神道・教授)
- 清水深(学事顧問・名誉教授)
- 皇學館大学ふるさと講座(古代天皇と名張)
- 19日 共催講座 1日「短期講習会(伊勢神道の成り立ち)」
- 26日 荊木美行(研究開発推進センター・教授)
- 30日 遠藤慶太(国史・教授)
- 10月 9月学位記授与式(卒業式)
- 1日 秋学期通常講義開始(令和3年1月27日 通常講義終了)
- 17日 手指消毒・検温指導 57日
- 24日 入試説明会・個別相談(3年生対象)
- 11月 共催講座 1日「短期講習会(系図「巻」)
- 31日 荊木美行(研究開発推進センター・教授)
- 29日 寮主催教育講演会(部下の命を預かるとは、渡部年晴氏(精華寮長)
- 11月 「コミュニケーション」学科主催「GIS Day」伊勢2020(オンライン実施)
- 12月 秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対校選手権大会出場
- 1日 四日市市熟年大学(専攻課程「令和御大礼の成果と課題」)
- 12日 佐野真人(研究開発推進センター・准教授)
- 14日 国文学会講演会(三島由紀夫とアグアレーション―豊かな誤読と変奏の世界―)有元伸子氏(広島大学教授)オンライン実施
- 19日 皇學館大学史学論議演説会(日本武尊と穴海―備後国の交通路から―)
- 20日 遠藤慶太(国史・教授)
- 24日 共催講座 1日「短期講習会(伊勢神宮と東大寺) 多田實道(国史・教授)
- 28日 現代日本塾「地方創生の取組について」日本酒プロジェクト、ヘルツォーリウム、和光光尚社、千田良仁(現日・教授)
- 12月 「コミュニケーション」学科主催「第21回高校生英語スピーチコンテスト」動画審査 結果発表
- 3日 手指消毒・検温指導 12月4日
- 28日 共催講座 1日「短期講習会(伊勢参宮名所図会)」を読む
- 3日 岡野友彦(国史・教授)
- 3日 学内奨学金授与式

齋藤先生はじめ多くの教職員が
ゴールデンウィークを返上して
事に当たってくださり、皆さん
のご協力のおかげで体制を整え
ることができました。

齋藤教授 ●学生の皆さんにとっ
ては、対面授業の方がやりやす
かったですか？

鈴木 ●やはり顔を見た方が授業
は受けやすかったです。

中妻 ●先生と学生、学生同士で
コミュニケーションがとれ、そ

情報発信が課題

齋藤教授 ●中妻さんがWi-Fi環
境の関係で視聴できないことが
あったと話していましたが、大
学がWi-Fiルーターの貸出や情
報処理教室の開放をしていたこ
とはご存知でしたか？

一同、首を横に振る。

齋藤教授 ●発信してきたつもり
でしたが、届いていなかったよ
うですね。今後、自然災害等に
対応していくためにも学生たち
の通信環境を細かく調査する必
要があるといえますね。友人同
士で情報交換は？

中妻 ●僕はあまり機械に詳しく
ないので、最初の頃は所属して
いる野球部のメンバー同士で使
い方などについて頻繁にやり取
りしていました。

齋藤教授 ●概ねLINEです
か？LINEを使う理由は？

中妻 ●既読が付くのでわかりや
すいです。

齋藤教授 ●就活でLINEを使
うことはありますか？



西澤美羽さん

れをもとにいろいろな方向へ発
展していくのが大学で学ぶ意義
だと思うので、僕も対面の方が
理屈抜きで良いと思いました。

齋藤教授 ●私も学生の顔を見な
がら授業ができ幸せでした。喋
る側も聞き手の反応がわかる対
面の方が楽なんです。1人で
機械に向かって吹き込むのは壁
に向かって話しているのと一緒
で、とても辛かったですね。

西澤 ●日頃、友人とのコミュニ
ケーションツールとして活用し
ていますが、友人以外の人に対
してLINEを使うのは失礼に
あたる気がします。

河野学長 ●友だち同士なら気軽
にできるでしょうけど、会社員
同士なら普通はメールでしょう
ね。大学からの一斉メールは見
てもらえましたか？

一同、うなずく。

齋藤教授 ●学生ポータルサイト
を設置してコロナに関する情報
や大学の方針をお知らせしてい
ましたが、皆さんは見られてい
ましたか？

中妻 ●僕は学生として大学側の
考えを知りたかったので、頻繁
にチェックして、部活動のメン
バーと共有していました。

河野学長 ●昨年の3月以降、私



河野訓学長

を座長として週に1度コロナ対
策会議を開き、あらゆることを
議題に話し合ってきました。そ
こで決まったことを発信してき
たわけですが、初めのうちはあ
まり学生に伝わっていません
気がします。学生の立場から情
報発信に関して要望があればせ
ひ聞かせてください。

西澤 ●学生ポータルサイトは一
旦Googleで検索する手間がか
かるので、大学の公式LINE
があればワンクリックで見られ
て便利だと思います。

河野学長 ●なるほど、それは参
考になる意見ですね。大学とし
ても模索しながらの発信でし
た。一斉メールも頻繁に出し過
ぎると見なくなってしまうの
で、内容や回数を厳選しなけれ
ばいけない。

齋藤教授 ●大事な情報が埋もれ
てしまう可能性がありますから
ね。加えて、ホームページを見
たい人はホームページを、LI
NEが得意な人はLINEをと
いう風に、多様な使い方にあわ
せ学生が情報を得られるチャネ
ル(経路)をたくさん増やしてお
くことが必要でしょうね。

大学の価値は授業だけではない

齋藤教授 ●学生生活全般につい
て困ったことはありませんか？

西澤 ●卒業論文を書く際に必要
な史料が集まらず、不便に感
じました。デジタルアーカイブ
で見られない資料を大阪府内の
施設に請求したら、一部を除き、
来館して直接見てくださいと。

でも、その時期に大阪に行くの
は非常に怖くて、口頭試問でも
先生方と一〇〇の資料が欲しか
ったねという話になりました。

中妻 ●教育実習が延期になり、
行われても密を避け給食中は無
言。部活動もなく、さらにアル
バイトもできなくて、この先ど

うなるのだろうかと思いました。
ただ、自分は友人も部活動の仲
間もいましたが、1年生はとく
に不安だったと思います。

鈴木 ●たしかに、新たな出会い
を楽しみに待っていたのに、入
学してすぐオンライン授業にな
ってしまい落ち込みました。対
面授業が始まってからもみんなマ
スクをしているので顔もよくわか
らない状態で。今は部活動に入
り、同い年の友だちができたの
でよかったです。

齋藤教授 ●大学の環境づくりを
担うお立場から学長のご意見
は？

河野学長 ●他の大学の先生方と
話をする中で再認識したのは、
大学の価値は授業だけじゃない
ということ。その役割が欠如し
たこの一年は大学にとって存在
価値を失うに等しいことであ
ったのではないかと思います。そ
ういう意味では学生に申し訳ない
気持ちでいっぱいです。

齋藤教授 ●学生の安心安全を確
保するためとはいえ、開学以来、
地域社会に研究の成果を還元し
ようと開いてきた月例文化講座
の中止も苦渋の決断でしたね。



鈴木美結さん

「当たり前」の有難みに気づく

齋藤教授 ●コロナで得られた教
訓があれば教えてください。

鈴木 ●自粛期間中、家族とい
る時間が増えたことで改めてそ
の存在を大切に感じました。大
学で受ける授業の「重み」にも考
えが至るようになり、大変な中
で授業を行ってくださる先生方
に感謝しています。コロナの影
響でやれることが限られていま
すが、今できることをしっかり
とやり、どんな状況にも対応で
きるようにしたいです。

中妻 ●人と人とのつながりの有
難さを身に染みて感じました
し、たとえばマスクを着ける、
密にならないようにするといっ
たことは一部の人が実行しても
意味がなく、ルールやマナーは



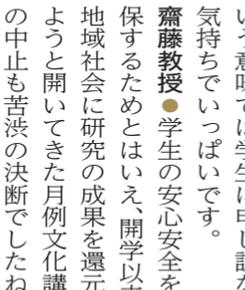
齋藤平教授

ということ。同学年の人もいれ
ば、先輩後輩や先生方、教育実
習に行けば児童生徒とも関わり
ます。いわば人間交流の場を提
供するところであり、授業外の
余白の時間で先生や学友と親交
を深めながら何かを作り上げて
いくことは教育のあり方として
も望ましい。その役割が欠如し
たこの一年は大学にとって存在
価値を失うに等しいことであ
ったのではないかと思います。そ
ういう意味では学生に申し訳ない
気持ちでいっぱいです。

齋藤教授 ●大学の環境づくりを
担うお立場から学長のご意見
は？

河野学長 ●他の大学の先生方と
話をする中で再認識したのは、
大学の価値は授業だけじゃない
ということ。その役割が欠如し
たこの一年は大学にとって存在
価値を失うに等しいことであ
ったのではないかと思います。そ
ういう意味では学生に申し訳ない
気持ちでいっぱいです。

齋藤教授 ●学生の安心安全を確
保するためとはいえ、開学以来、
地域社会に研究の成果を還元し
ようと開いてきた月例文化講座
の中止も苦渋の決断でしたね。



中妻和哉さん

「当たり前」の有難みに気づく

みんなが守るからこそ効果を発
揮するのだとわかりました。ほ
かにも日頃から先生の話や校内
放送をきちんと聞く習慣をつけ
ていると、いざという時に大切
な話を聞き流らさないうなど、普
段の心掛けが重要だと感じま
した。また、このコロナ禍でテレ
ビ番組によって言っていること
が違ったり、噂レベルの話がネ
ット上で拡散するのを見て、情
報の真偽、正確性を見極める力
が必要だと痛感しました。これ
はコロナに限らず、災害など不
測の事態が起きたときにもいえ
ることです。情報を精査し活
用してこそ、自分のとるべき行
動がわかるのだと思います。

西澤 ●友だちと話しながら勉強
したり、相談しながら卒論を書
いたり、当たり前にも思ってい
たことが当たり前でなくなり、は
じめたその価値に気づきまし
た。一方で漫然と広げていた交
友関係を見直すきっかけにもな
ったので、社会人になるのを機
に人との付き合い方を考えてい
きたいと思っています。

齋藤教授 ●大学ではクラウド型
の授業支援システム「Manaba」
を使っているのですが、年間1
800コマほどある授業のう
ち、このシステムを活用してい
るのは100くらいだったんで
すよ、コロナ前は。今では全
授業で取り入れられるようにな
りました。これも、コロナによ
って急速にICT化、デジタル
化が加速するという思わぬ副産
物ですよ。さて、最後に、こ
の緊急した状況が終息したら、
皆さんは何をしたいですか？

鈴木 ●テーマパークや好きなア
ーティストのライブに行きたい
です。

中妻 ●県外へ遠征に行ったり、
他のチームと対戦したいですね。
西澤 ●行けなかった卒業旅行を
したいね、と友人と話し合っ
ています。

齋藤教授 ●皆さんが話してくれ
たことは、これまで当たり前
できていたんですね。その日
が1日も早く来ることを祈っ
ています。

河野学長 ●今日は直接、学生の
皆さんから生の話を聞くことが
できて非常に有意義でした。あ
りがとうございました。

高 校	中 学
<ul style="list-style-type: none"> 5日 ●共済講座「1日短期講習会(『日本書紀』の別巻をめぐる―奈良時代の『アライブ』) 前木美行(研究開発推進センター)教授 11日 ●高田高等学校との高大連携に関する協定締結 17日 ●現代日本塾「未来の大人を応援する」ということ」 山岡茂治氏(一般社団法人未来の大人応援プロジェクト)副代表 24日 ●日本書紀撰上十三三百年記念祭典 講演「『日本書紀』の修復」 清水潔(学事顧問 名誉教授) 25日 ●大祝式 7日 ●手指消毒・検温指導 14日 16日 ●大学入学共通テスト 17日 25日 ●学長奨励賞授与式 6日 ●皇學館大学ふるさと講座(名張市の言葉―名張市史の調査から―) 齋藤平(国文・教授) 4日 ●「コミュニケーション学科主催 第2回英語発信力コンテスト(動画審査)結果発表 6日 ●令和2年度CUI活動報告会(オンライン) 会場参加併用開催 18日 ●学位記・修了証書授与式(卒業式) 21日 ●佐古前理事長一年祭並びに偲ぶ会 31日 ●新入生登学日 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 8日 ●始業式 9日 ●入学式 10日 ●臨時休校開始 5月16日 30日 ●創立記念日 5月 18日 ●1年生登校日 19日 ●2年生登校日 20日 ●3年生登校日 25日 ●個人面談(全学年) 26日 27日 ●1年生オリエンテーション 6月 8日 ●対面式 15日 ●校友会総務委員会 17日 ●月次祭(講読) 7月 9日 ●期末考査 15日 15日 ●校友会本部役員立会演説会 22日 ●保護者懇談会 30日 29日 ●第44回全国高等学校総合文化祭2020(うち総文オンライン)開催 10月31日 終業式 8月 1日 ●夏季休業開始 16日 17日 ●始業式 ●地震避難訓練 9月 12日 ●オープンスクールⅠ 13日 17日 ●皇高祭 10月 15日 ●中間考査 20日 17日 ●神嘗祭(休校日) 23日 ●みえ高文祭 25日 29日 ●2年体育大会 30日 ●家庭に感謝する日 31日 ●3年体育大会 4月 6日 ●始業式 7日 ●入学式 8日 ●対面式 1年生オリエンテーション 9日 10日 ●休校日 13日 ●午前中、学級指導 14日 ●臨時休校開始 5月 7日 ●リモート「classroom」開始 26日 ●登校授業日 21日 ●登校授業日 6月 1日 ●平常授業開始 16日 ●スマホケータイ安全教室 17日 ●月次祭(講読) 19日 ●第1回実力テスト 7月 2日 ●いじめアンケート 20日 ●中間考査 21日 25日 ●中体連夏季交流大会 剣道 26日 ●中体連夏季交流大会 剣道 26日 ●(ハスケットボール) 26日 ●中体連夏季交流大会(卓球) 8月2日 8月 1日 ●夏季休業開始 ●中体連夏季交流大会(ハンドボール) ●生活相談日 4日 ●授業開始 ●第2回実力テスト ●伊勢度会陸上大会 30日 9月 6日 ●皇中祭 ① 15日 ●第1回オープンスクール 10月 2日 ●保護者懇談会 5・6日 6日 ●終業式 7日 ●秋季休業 9日 12日 ●始業式 ●神嘗祭 ●教育実習 31日 ●体育大会 ●第3回実力テスト ●家庭に感謝する日 11月 4日 ●個人面談週間 8日 ●授業参観 ●第2回オープンスクール

国勢調査への協力に 総務省から感謝状



令和2年度国勢調査の準備及び取りまとめに貢献したとして、学校法人皇學館に対し総務省統計局より感謝状が贈られた。

準備作業を担ったのは公務員を志望する現代日本社会学部の学生10名。産業社会実習の一環で、昨年7月下旬から9月上旬の6週間にわたり伊勢市情報戦略局情報政策課でインターンシップ研修を行った。研修では調査用品の仕分けや発送準備、各種説明会の設置準備等をチームワークよく真摯に取り組んだ。同課担当者からは「おかげで予定より早く準備作業を終えることができ、本番の調査に臨めた」と労いの言葉をいただいた。

学生たちも座学で学んだ国勢調査に、実際の業務で関わったことを誇りに感じ、創意工夫しながら作業を的確にこなす公務員の使命を改めて認識したようだ。

調査票の取りまとめは伊勢市との業務委託契約に基づき総務担当が実施。精華寮や貞明寮、クラブ合宿所を対象に調査票の配布、回収、不備のチェックなどきめ細やかに対応し、伊勢市に提出した。



多くの人に愛され慕われた故人を偲び、しめやかに営まれた一年祭・偲ぶ会

佐古前理事長の一年祭・偲ぶ会を斎行

令和2年4月23日(木)に享年80歳で帰幽された佐古一冽学校法人皇學館前理事長、松尾大社名誉宮司の一年祭並びに偲ぶ会が令和3年3月21日(日)にホテルグランヴィア京都で営まれた。

祭壇には衣冠単の正装に身を包んだ佐古前理事長の遺影が掲げられ、その周りには神社界、教育界、松尾大社の氏子崇敬者様をはじめ全国各地から寄せられた供花が供えられた。

一年祭は斎主に高向正秀(学校法人皇學館常務理事、宗像大社前宮司・大8)、副斎主に磯部明(松尾大社権禰宜・大13)、また、齋藤昌通(大野原神社宮司・神専8)、鈴木烈(皇學館大学神職養成部主事、松尾大社権禰宜・神専27)、馬淵貴裕(愛宕神社権禰宜・神専33)の祭員のもと斎行され、祭詞奏上では、佐古前理事長の長年にわたる御功績等が奏上された。

追悼の辞では衆議院議員伊吹文明様、神宮大宮司ご代理の亀田幸弘少宮司様、神社本庁総長田中恒清様が在りし日の佐古前理事長との様々なエピソードを紹介し、酒をこよなく愛し軽妙な語り口と温和な笑顔が印象的だった故人を追悼した。また、小申和夫理事長、生寫経和松尾大社宮司、遺族を代表して故人ご長男の佐古英崇氏が謝辞を述べた後、参列者が玉串を捧げ一年祭並びに偲ぶ会は滞りなく終了した。

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、一年祭並びに偲ぶ会の当日は低気圧や前線の影響で春の嵐が吹き荒れる中、ご親族、神社界、企業関係者、氏子崇敬者など450人近い参列者が故人を偲んで会場へと足を運んだ。

令和3年度 CLL活動 新規3活動含む28活動が始動

- 令和3年度 ※26・27・28が新規 (令和3年4月現在)
- 1 あばばいー伊勢志摩国立公園 学生会会一
 - 2 みんなの声を聞くには?プロジェクト
 - 3 伊勢おはらい町 防災プロジェクト
 - 4 皇學館みらい対話団
 - 5 新聞カフェ
 - 6 着ぐるみ(伊勢まいりん)を使用した伊勢市観光事業のPR活動
 - 7 防災のための大湫地域資源発掘プロジェクト
 - 8 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト
 - 9 伊勢まちづくりゼミ
 - 10 The Histories of Ise 行政文化資源の活用
 - 11 TMKミライデザインプロジェクト(玉城町明るい未来推進プロジェクト)
 - 12 だんだんお花畑プロジェクト in 玉城町
 - 13 度会カフェリョクプロジェクト
 - 14 南伊勢地域連携日本酒プロジェクト
 - 15 産学官連携日本酒プロジェクト
 - 16 ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト
 - 17 農業の魅力発見!南紀みかん援農隊プロジェクト
 - 18 ハビふるプロジェクト
 - 19 えりはらのばんやさん
 - 20 若者への「スマホでみえ得キャンペーン」利用促進プロジェクト
 - 21 竈方集落(限界集落)デザインプロジェクト
 - 22 若者の投票率UP! プロジェクト
 - 23 JAF地方創生プロジェクト
 - 24 いせ移住PR支援プロジェクト
 - 25 宇治山田駅前賑わい創出事業
 - 26 児童・生徒とともに学び成長するプロジェクト
 - 27 夫婦岩表参道活性化による二見地区の町興しーリアル謎解きゲームを通してー
 - 28 鳥羽なかまち(仲間ち)で地域活性化に取り組もう!



初のオンライン・会場参加併用開催となった報告会

- 報告会では河野訓学長の挨拶に続き、齋藤平教育開発センター長より活動の成果が発表された。CLL活動は年々数が増え、令和2年度は31と、平成27年の7から大幅増となった。さらに、参加学生も50名から259名と、およそ5倍になった。
- 最も共感を得た活動に贈られるオーディエンス賞は「農業の魅力発見!南紀みかん援農隊プロジェクト」が受賞した。
- 今回、初のオンライン・会場参加の併用(ハイフレックス開催)となったが、会場に来ることができない遠方からの参加もあり、今後の報告会の新しい形を発見する機会にもなった。CLL活動は来年度以降も継続される。今後の地域課題に向けた学生の頑張りに期待したい。

令和2年度 CLL活動報告会 オーディエンス賞は 南紀みかん援農隊 プロジェクト

報告会では河野訓学長の挨拶に続き、齋藤平教育開発センター長より活動の成果が発表された。CLL活動は年々数が増え、令和2年度は31と、平成27年の7から大幅増となった。さらに、参加学生も50名から259名と、およそ5倍になった。

最も共感を得た活動に贈られるオーディエンス賞は「農業の魅力発見!南紀みかん援農隊プロジェクト」が受賞した。

今回、初のオンライン・会場参加の併用(ハイフレックス開催)となったが、会場に来ることができない遠方からの参加もあり、今後の報告会の新しい形を発見する機会にもなった。CLL活動は来年度以降も継続される。今後の地域課題に向けた学生の頑張りに期待したい。



学生目線での活動モデルを提案した「南紀みかん援農隊プロジェクト」

皇學館大学出版部 令和2年度 新刊書籍のご案内

令和2年度に出版された新刊本のご紹介です。

- 神宮御師資料第9輯 研究開発推進センター史料編纂所編 定価2200円 A5判・209頁
- 伊勢神宮の御師家の福嶋勘左衛門家に伝来した福島眞悟家所蔵文書を、完全な形で翻刻。
- 肢体不自由教育の変遷ー昭和・平成の対象視山本智子著 定価1316円 四六判・117頁
- 歴史的・文獻的研究から肢体不自由教育の対象観の変遷を示し、今後の教育の可能性を問う。
- 堀至徳関係文書 堀至徳資料研究会編 池田久代編著 定価6908円 A5判・454頁
- 近代日本の仏教者としてインドに留学し、梵語とインド仏教の原点を探求した堀至徳の書簡集。日・印・アジア情勢の一端が開示される。
- 即位礼と大嘗祭の歴史と文学 定価3620円
- 大島信生、加茂正典、佐野真人、深津睦夫、岡野友彦、松本丘、新田均、河野訓
- [令和元年度月例文化講座]
- 伊勢志摩のくらし今昔 定価404円
- 教育開発センター 板井正吾、笠原正嗣、池山敦、千田良仁、齋藤平
- [平成28年度月例文化講座]

21日	● 1年体育大会	12月	● 卒業・期末考査 5日	12月	● 中間考査 3日	19日	● 2年生宿泊研修 20日
20日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業・期末考査 5日	11月	● スポーツ大会	11月	● 授業アンケート
19日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 3年クラスマッチ	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
18日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 保護者懇談会 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
17日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
16日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
15日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
14日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
13日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
12日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
11日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
10日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
9日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
8日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
7日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
6日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
5日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
4日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
3日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
2日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
1日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
31日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
30日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
29日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
28日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
27日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
26日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
25日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
24日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
23日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
22日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
21日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
20日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
19日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
18日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
17日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
16日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
15日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
14日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
13日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
12日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
11日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
10日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
9日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
8日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
7日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
6日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
5日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
4日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
3日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
2日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
1日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
31日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
30日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
29日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
28日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
27日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
26日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
25日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
24日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
23日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
22日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
21日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
20日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
19日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
18日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
17日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
16日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
15日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
14日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
13日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
12日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
11日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
10日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
9日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
8日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
7日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
6日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
5日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
4日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
3日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
2日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
1日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
31日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
30日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
29日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
28日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
27日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
26日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
25日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
24日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
23日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
22日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
21日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
20日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
19日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
18日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
17日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
16日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月	● 授業アンケート	11月	● 校友会選挙
15日	● 卒業・期末考査 5日	11月	● 卒業式 23日	11月			